

ペルフルオロオクタンスルホン酸^{ビーフォス} (PFOS) 及び
 ペルフルオロオクタン酸^{ビーフォア} (PFOA) について

ペルフルオロオクタンスルホン酸（以下「PFOS」という。）及びペルフルオロオクタン酸（以下「PFOA」という。）は、令和2年5月28日付け環境省水・大気環境局長通知「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について（通知）」により要監視項目としての指針値（暫定）がPFOSとPFOAの合算値で1リットル当たり50ナノグラム（50ng/L）に設定された。

このことから、令和3年度水質測定計画において、当該項目を要監視項目の測定項目として追加する。

1 物理化学的性質

- ・ 化学的に極めて安定であり、水溶性・不揮発性のため、環境中に放出された場合は水系に移行しやすい。
- ・ 難分解性のため、半永久的に環境に残留すると考えられている。

2 主な用途

撥水・撥油加工の際の原料や、表面張力を大きく低下させることから泡消火剤、様々な表面処理剤や塗料の添加物の用途に用いられてきた。

PFOS：泡消火薬剤、半導体、金属メッキ、フォトマスク（半導体、液晶ディスプレイ）、写真フィルム等

PFOA：泡消火薬剤、繊維、医療、電子基板、自動車、食品包装紙、防護服、皮革、フローリング等

3 有害性

人への影響は明らかになっていないが、ラットの体重の低下などの影響が報告されている。

4 国内の規制

PFOSについては、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（昭和48年法律第107号、以下「化審法」という。）により、原則として製造や輸入が禁止されている。

PFOAについても、化審法に基づく所要の措置について検討が進められている。

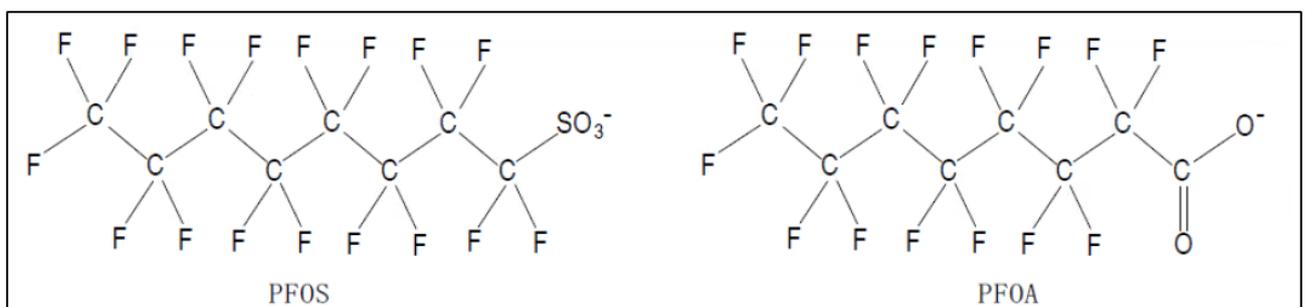


図 PFOS 及び PFOA の構造式